



## 公民館から

### ◆ 堅粕公民館人権セミナー

堅粕公民館サークル代表者等を対象として、人権セミナー(人権学習会)を開催します。

日時：3月6日(水) 13:30～15:00

会場：堅粕公民館 講堂

講師：奴留由 健二氏(博多区生涯学習推進課 人権啓発推進員)

内容：「一人ひとりが大切にされるグループ・サークル活動やまちづくりをめざして」  
・福岡市人権教育・啓発基本計画について  
・DVD視聴「イメージーション」

### ◆ 第2回 公民館運営懇話会

日時：3月13日(水) 18:00～

会場：堅粕公民館 講堂

内容：(1) 令和6年度堅粕公民館運営方針(案)  
(2) 令和6年度堅粕公民館主催事業計画(案)  
(3) 令和6年度堅粕公民館サークル申請状況

※ 委員の方には別途ご案内いたします。なお傍聴を希望される方は、お申し出ください。

## 公民館からのお知らせ

### ◆ 臨時休館について…3月31日(日)

この日の利用申込みをされる場合は、3月21日(木)までをお願いします。

## 自治協各種団体から

主催：衛生連合会

### ◆ 堅粕校区歩こう会

日時：3月27日(水) 10:00 公民館集合

行き先：舞鶴公園

※ 水筒・交通費をご持参ください。



主催：男女共同参画協議会

### ◆ 男女協ととくらぶ(パパと乳幼児との遊び場)

日時：3月16日(土) 10:00～12:00

会場：堅粕公民館 講堂



### ◆ 子育てサロン ぞうさん広場

主催：社会福祉協議会

日時：3月7日(木) 10:00～12:00

会場：堅粕公民館 講堂



## 市民防災の日講演会

「災害時に地域みんなで助かるために ～個別避難計画のススメ～」

福岡市では、平成17年3月20日に発生した福岡県西方沖地震の記憶と経験を風化させないために、3月20日を「市民防災の日」と定めており、毎年この時期に防災講演会を開催しています。

災害はいつ起こるか分かりません。自分や家族、地域の安全を守るために、この機会に防災について一緒に考えてみましょう。

【内容】災害時、誰一人取り残さないために、福祉、防災、コミュニティが連携し、高齢者や障がい者など自ら避難することが困難な方への避難支援についてお話しいたします。

【講師】鍵屋 一氏(跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科教授)

【日時】令和6年3月20日(水・祝)午後1時半～3時

【場所】福岡市立中央市民センター 3階ホール

【定員】先着500名(要申込)

会場にて聴講いただいた方には、記念品プレゼント!

【料金】無料

【申込】3月15日(金)までにFAXかメール(bousai01@city.fukuoka.lg.jp)に氏名、電話番号を記載して申込み

【主催】市民局地域防災課 ☎092-711-4156/FAX092-733-5861

福岡市 市民防災の日 検索

## 3月は「自殺対策強化月間」 ～知らせてほしい、心のSOS～

自殺対策強化月間に合わせて、自殺対策について理解と関心を持っていただけるよう、関係団体と連携し、相談事業や普及啓発に取り組みます。

○ 専門相談電話 092-737-1275 (平日午前10時～午後4時)  
精神保健福祉センターでは、自殺に関する相談に応じています。自殺対策強化月間に合わせ、3月9日(土)、10日(日)も電話相談をお受けします。

○ 博多ポートタワーを「ピンク」にライトアップ します。  
ライトアップカラーは愛情、幸福、思いやりを表す「ピンク」。各種啓発物やホームページ等においても「ピンク」を使用しています。  
ライトアップ期間：3月1日(金)～3月8日(金)と 3月24日(日)～3月31日(日)

上記以外にも相談会や啓発事業を実施します。詳しくはセンターホームページをご覧ください。

主催)福岡市精神保健福祉センター



## よかドック30のご案内

糖尿病などの生活習慣病を早期発見・早期治療しましょう!

『よかドック30』は、30～39歳で職場などで同等の健康診断を受ける機会のない方を対象とした生活習慣病を予防するための健診です。健診の結果、生活習慣の見直しが必要な方には「ヘルシースクール」で食事や運動に関する健康アドバイスを行っています。

生活習慣病予防のために、年に1回健康状態を確認してみませんか? 詳細は下記「けんしんナビ」にてご確認の上、お申し込みください。

けんしんナビ



<相談・問い合わせ先>  
博多区保健福祉センター地域保健福祉課  
TEL092-419-1100

お申込みは、集団健診予約センター(電話:0120-985-902)でも受け付けます。



## 館長のつばやき

～ 噂話はやめられない? ～

人は古来から噂話が大好きなようで、『チコちゃんに叱られる!』によると、その起源は農耕時代に遡るそうです。自分の良い噂を流すとともに、人を落としいれる悪い噂を流し、生活するのに命懸けの時代に、噂話は集団の中で「生き残るため」の行動だそうです。

現代でも、噂話は脳の報酬系が活性化し、アルファ波が出て幸せを感じるため、皆さん噂話が好きなようです。「人の不幸は蜜の味!」と感じるのはまさにこれなのでしょう。

近年では、SNSなどネットツールを使ってデマを流したり、誹謗・中傷が行われ、子どもの世界では「ネット上のいじめ」が深刻化しています。ネット上に掲載された動画や画像などは、半永久的に残る可能性があり、簡単に削除できません。こうなると「人の噂も七十五日」では済まなくなります。

いつの時代になっても、人の噂話好きは変わらないようですが、特に人の評判に関わる噂話が正しいかどうかは、噂を流す人を自分の目と心で評価することも大切です。

噂話を鵜呑みにすると、いつの間にか、あなた自身が噂話の中心になっているかもしれませんよ。(笑)

